

2030年代の世界を俯瞰した 静岡市における 高等教育の在り方

- 学ぶために人が集まるまちになるために -

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人 川北 秀人

<http://blog.canpan.info/iihoe/>

Proud to be a partner of the changes you make.

Inspiring Social Innovations since 1994.

IIHOEって？

- ・目的：地球上のすべての生命にとって、調和的で民主的な発展のために(1994年)
- ・社会事業家(課題・理想に挑むNPO・企業)の支援
 - ・「NPOマネジメント」(99年~11年)、「ソシオ・マネジメント」
 - ・育成・支援のための講座・研修
 - 地域で活動する団体のマネジメント研修(00年以降 年100件以上)
 - 行政と市民団体がいっしょに協働を学ぶ研修(年30区市)
 - 「ソシオ・マネジメント・スクール」6テーマで開講(15年~)
 - ・調査・提言：「NPOの信頼性向上と助成の最適化」
 - 「協働環境」「自治体の社会責任(LGSR)」
- ・ビジネスと市民生活を通じた環境・社会問題の解決
 - ・企業の社会責任(CSR)の戦略デザイン・役員研修(年10社)
- ・2020年代の地球への行動計画立案
- ・文科省関連では、教員免許更新制にともなう研修開発会議 委員
国立教育政策研究所 社会教育研究実践センター 企画委員
公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム 運営委員
JST RISTEX 社会実装支援プログラム アドバイザー、フューチャーアース 委員
- ・専従3名(うち育休後短時間勤務1名!)、東京(新川)、約3900万円

静岡市で今、高等教育の在り方を 考える意義・目的・視野として

- ・流出を減らすとともに、流入を増やす
←なぜ流出し、なぜ流入しないのか？
- ・2030年代の世界を視野に入れると、
どんな力を育てることが大切か？
←学力・楽しさ<<しんどくても稼げる力
←2030年代の日本と世界は？

大学進学先として他県と比較すると？

・県内高出身の大学進学者17,323人⇔県内大学入学者？

・県外進学先上位？（計12,421人）

・県外進学先での「シェア」上位？

静岡市も、これまで20年と、これから20年は違う

1,411.85km ²	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
計(千人)	738,674	723,323	704,989	652,514	591,321
			▲4%		▲15%
0~14歳	114,686	96,702	85,299	68,556	57,093
			▲25%		▲32%
15~64歳(A) (生産人口)	516,739	473,618	415,466	376,339	328,188
		100%	87%	79%	69%
			▲19%		▲21%
65歳~ 高齢者率	107,205 14.5%	153,003 21.2%	200,229 28.4%	207,619 31.8%	206,040 34.8%
			+86%		+3%
(65-74歳)	(65,474)	(84,959)	(103,034)	(81,443)	(82,351)
75歳~	41,731	68,044	97,195	126,176	123,689
			+42%	+29%	▲2%
85歳~(B)	9,291	16,898	29,074	42,633	
		100%	176%	252%	+76%
			+73%		%
A÷B	55.6人	28.0人	14.2人	8.8人	人

2020年の静岡市は？

- ・高齢者率は？→**30.7%**(全国より5年早い)！！
- ・75歳以上は？→**11.1万人**(市民**6**人に1人)！
 - ・ヘルパーなど、福祉の担い手は、あとどれだけ必要？
 - ・社会保障(医療・介護)費は、いくら増える？
→ 高齢者の健康=地域の資源+資産！
- ・生産人口は？→**10年比12%減**⇔後期高齢者**33%増**
 - ・市税収入は？
- ・既存インフラの補修・更新は？
 - ・道、橋、公営住宅、上下水道、施設、公園、どれだけの残量？
 - 人件費・扶助費・公債費に次ぐ「第4の義務的経費」
- ・市債残高は？ 利息は1日いくら？
- ・消費税は、いくら必要？

アセットマネジメント基本方針(14年2月)

公共建築物(道路・上下水道除く)維持更新に

30年間(2013年~42年)で計9,260億円

=309億円/年⇔現状117億円=192億円不足

静岡市の高齢者・後期高齢者のくらしは？

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年
人口(千人)	723,323	716,197	704,989	678,878	652,514
高齢者	153,003	176,830	200,229	208,676	207,619
後期高齢者	68,044	83,652	97,195	111,248	126,176
人口比	9.4%	11.7%	13.8%	16.4%	19.3%
要介護3以上	6,943:10.2%	8,947:10.7%	10,183:10.5%	11,655:10.5%	13,219:10.5%
世帯数	271,284	279,019	286,013	281,236	273,199
高齢者単身	18,892 5457+13435	23,692 7362+16330	31,233 10932+20301	34,247 12381+21866	35,637 13237+22401
後期高齢者 単身	9,037 2043+6994 13.3%	12,022 2718+9304 14.4%	16,342 4053+12289 16.8%	19,687 4964+14724 17.7%	18.5%
高齢者夫婦	18,952	23,576	29,075	31,415	32,150
後期夫婦	4,743	7,159	9,562	11,742	13,948
高齢世帯率	13.9%	16.9%	21.1%	23.3%	24.8%
後期世帯率	5.1%	6.9%	9.1%	11.2%	%

日本のGDPが世界に占める割合が最高だったのは？

2017年に日本のGDPが世界に占める割合は？

では、2023年には？

同年、中国のGDPは日本の何倍？

同年、ASEAN5の1人あたりは、日本のいつと同じ？

同年、中国+インド+ASEAN5の世界シェアは？

延長線上で考えるな！

(IMF WEO 2018.4)

	EU	アメリカ	日本	中国	ASEAN5	インド
1980						
1人あたりGDP	\$9,133	\$12,576	\$8,921	\$310	\$1,351	\$557
世界シェア	34.1%	25.7%	9.9%	2.7%	2.0%	1.7%
後10年成長率	2.2%	3.1%	4.4%	9.7%	5.7%	5.5%
1990	\$16,780	\$23,914	\$19,782	\$979	\$2,897	\$1,165
	31.5%	25.5%	13.3%	1.7%	1.4%	1.4%
	2.0%	3.2%	1.4%	9.9%	5.1%	5.7%
2000	\$24,253	\$36,433	\$26,850	\$2,918	\$4,787	\$2,019
	26.4%	30.4%	14.4%	3.6%	1.5%	1.4%
	1.7%	1.8%	0.5%	10.2%	5.0%	6.9%
2010	\$33,709	\$48,311	\$35,157	\$9,252	\$8,516	\$4,445
	25.8%	22.7%	8.6%	9.2%	2.5%	2.6%
	1.7%	2.2%	1.4%	7.6%	5.3%	7.3%
2015	\$38,328	\$56,411	\$40,392	\$14,330	\$11,082	\$6,255
	22.1%	24.3%	5.9%	15.1%	2.7%	2.8%
2020	\$46,541	\$66,637	\$47,165	\$21,093	\$14,824	\$9,189
	22.0%	22.7%	5.6%	17.3%	3.0%	3.6%
2023	\$51,435	\$71,805	\$51,224	\$26,086	\$17,674	\$11,785
	21.2%	21.5%	5.2%	18.9%	3.2%	4.1%

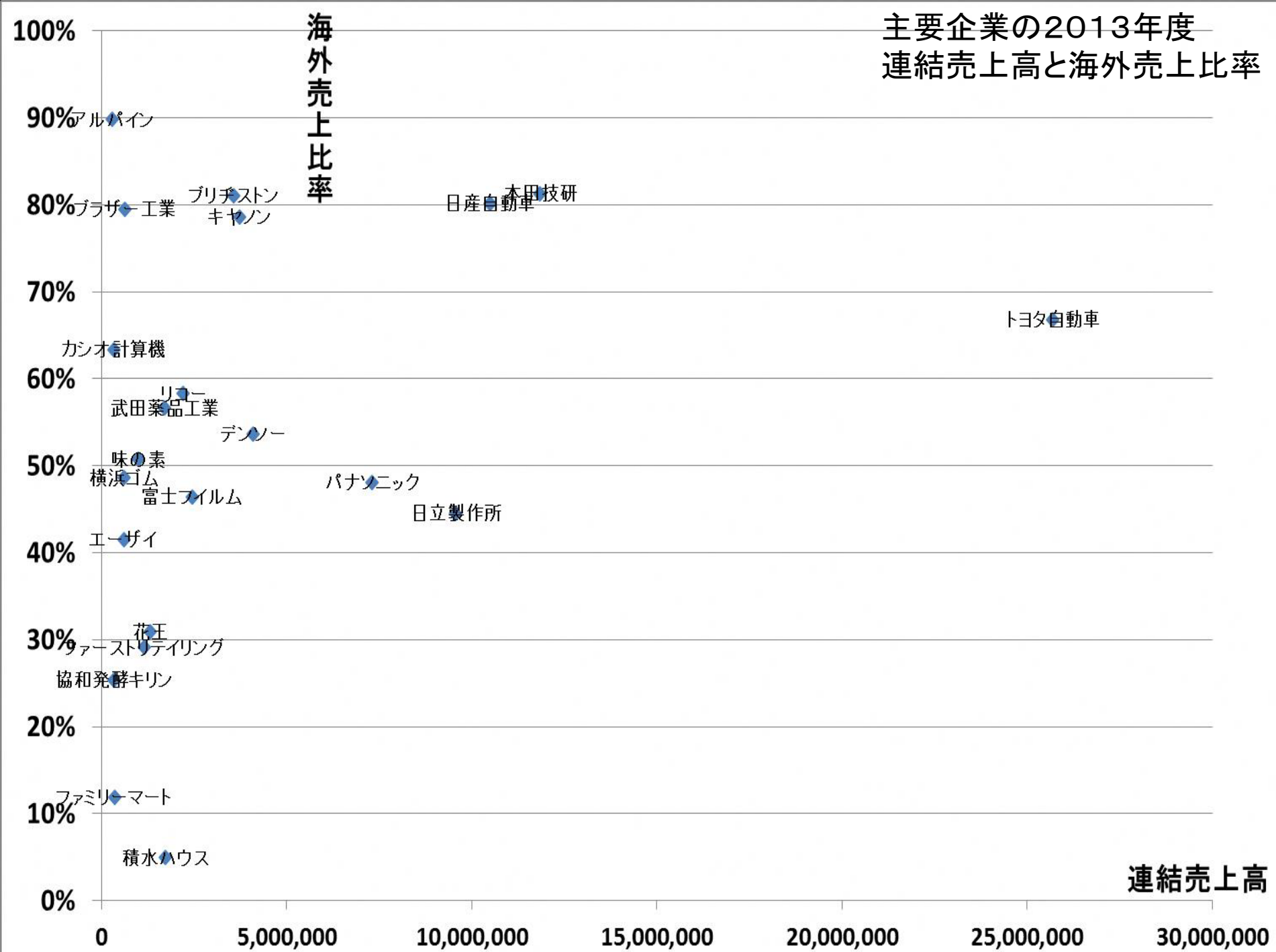
中国+ASEAN5+インド=23.9%

中国+ASEAN5+インド=26.1%

自動車保有台数の推移でみると？

	2005年	2012年	2020年	2030年
日本	75百万台(592台/千人) 世界シェア 8.5%	76(597) 6.8%	72(585) 5.2%	69(595) 4.0%
中国	30(23) 3.5%	109(83?) 9.8%	184(132) 13.3%	272(195) 15.8%
インド	15(13) 1.7%	29(20?) 2.6%	51(36) 3.7%	104(68) 6.0%
日本除く アジア	125(---) 14.1%	--(--) --	326(80) 23.6%	505(117) 29.3%
北米	263(---) 29.7%	273(--) 24.6%	313(836) 22.7%	348(866) 20.2%
中南米	68(---) 7.7%	--(--) --	140(215) 10.1%	196(281) 11.4%
欧州 (OECD加盟)	255(---) 28.7%		324(566) 23.5%	349(599) 20.3%
アフリカ	22(---) 2.5%	--(--) --	36(24) 2.6%	50(31) 2.9%
世界	889(136)	1,114(158)	1,381(180)	1,722(207)

主要企業の2013年度 連結売上高と海外売上比率



上場企業の海外売上高比率 (会社四季報2018年2集から、関西学院大学 川端基夫教授の集計による)

業種	社数	30%以上	50%以上	業種	社数	30%以上	50%以上
食品	29	31.0%	13.8%	輸送機械	81	82.7%	60.5%
繊維	22	45.5%	9.1%	精密機械	47	68.1%	38.3%
化学	162	59.9%	28.4%	その他製品	43	58.1%	34.9%
医薬品	37	51.4%	24.3%	卸売・商社	125	48.0%	16.8%
ガラス土石	28	60.7%	35.7%	小売	20	35.0%	5.0%
鉄鋼	30	43.3%	16.7%	陸海空運	20	45.0%	20.0%
非鉄	27	63.0%	7.4%	情報通信	55	40.0%	18.2%
金属製品	40	55.0%	25.0%	サービス	39	28.2%	15.4%
機械	193	67.4%	44.0%	その他	89	34.7%	16.4%
電機	221	71.5%	50.2%	計	1,308	57.8%	32.3%

「50%以上」全422社中、電機111社、機械85社、輸送機械49社、化学46社、卸売・商社21社、精密機械18社、その他製品15社、ガラス土石、金属製品、情報通信 各10社

ベンチマークすべき先？

多国籍・多文化環境なら

国際教養大、国際大、立命館APU

地域課題解決なら

大正大、東北芸工大(、高知工科大)

リカレント教育なら

立教セカンドステージ大

目的意識を持った高校卒業者を育てるなら、

北海道浦幌町、岐阜県立可児高、

島根県立隠岐島前高、山口県立防府商工高